**[鶴ヶ峰駅]**昭和５年開業

昭和３７年相鉄初の橋上駅舎化し５両編成運転に備えホームを110ｍに伸ばすなど相鉄の近代化は鶴ヶ峰駅から始まったと云われています。

**①鎧の渡し緑道**

「鎧の渡し緑道」とよばれる広場と鎧橋の下は、平成18年頃までは帷子川が流れていました。昔の絵図を見ると、「鎧の渡し」（別名、越っ場＝こしっぱ）当時は川幅も広く、渡し舟がありましたが、先を急ぐ武士達は、鎧を頭に乗せて渡ったところからこの名がついたようです。

　「矢竹が渕」「屏風が渕」「鎧が渕」という**三古淵**がこの辺りにありました。それだけ帷子川が蛇行していたということです。

この緑道は、平成１８年に完成公開されましたが、改修前の帷子川の流れは現在の駐輪場付近を半円状に周回し、鎧橋の下を通過して親水緑道方面に蛇行していました。

明治２０年完成した日本最初の近代水道の水路管が帷子川を通過するときに設置されたのが鎧橋で、平成１５年の道路改修時に現在のモニュメントになりました。

鎧橋から２.５ｋｍ先に西谷浄水場があります。

**②鎌倉中の道**

鎌倉から北へ向かって、茨城の古河までの、ほぼ直線的な古道のことです。

文治５年（１１８９）源頼朝の奥州藤原氏征伐の時に、開削・整備されました。

鎌倉時代を通じて「いざ、鎌倉」に対応して、御家人達が鎌倉へ向かうための戦略的な道です。当時は大切な道でしたが現在往昔のままの道はほとんど残っていません。

鎌倉～柏尾～名瀬～大池町～万騎が原～本宿～鶴ヶ峰～白根～緑区寺山町を通る幅２ｍ位の道です。

**③浄性院（じょうしょういん）**　浄土宗源円山浄性院

（倉光明寺の末寺）

本尊は阿弥陀如来坐像、高さ９０ｃｍで恵心の作と云われ、総本山知恩院より下付されたものと伝えます。

浄性院の起こりは、元この地に源円山浄性院長安寺という廃寺があったのを、天正１９年（１５９１）地頭渡辺孫三郎が再興し浄土宗とした。源円山浄性院長安寺の山院号は、開基渡辺孫三郎の法名より名付けた。渡辺氏は桓武天皇の流れをくみ畠山氏とは同族です。

さらに、源頼光の四天王で、鬼の手を切り落とした話で有名な「渡辺の綱」も先祖の一人です。孫三郎の子の富次の代に渡辺家の菩提所となりました。

鐘楼の奥に４基の石塔が整然と並んでいるのが地頭・渡辺氏一族の墓石です。

浄性院の梵鐘は旭区内で最も古い梵鐘です。天明８年（１７８８）の物部氏作と云われています。物部氏は区内の他の寺院の鐘も造りましたが、第二次大戦下軍の徴収にあい、現在残っているのはここだけで大変貴重な存在と云えます。

**④切割神明社**

祭神　ｲｻﾞﾅｷﾞ・ｲｻﾞﾅﾐの命、祭礼　９月１３日

旧本宿の三神社の一。切割は小字名で、土地の人々は原神社と呼んでいる

地権者１４名、相続者５９名の神社の敷地を昭和６１年社地に登記変更、その記念に灯篭、社号標を建てた。

境内には、横浜市名木指定の立派な大銀杏が聳立っている（樹齢約２３０年）。

**⑤南本宿公園**

平成元年（1989)に公開　面積は2万7842㎡（約8.500坪）

敷地内には、桜など多くの樹木や花が見られ、四季折々の花が楽しめる自然豊かな公園として市民に親しまれています。

敷地内には野菜や草花の栽培を通して、自然に親しみ、緑の大切さを体験してもらおうと、約２０00㎡の区分園（パーク菜園）を設置。希望者に有料で貸し出している。

**⑥無縁塚（深厚院様）**

鎌倉時代の或る武将が祀られていると云う。（一説には榛谷氏とも）明治から大正にかけての頃、この付近で不幸な事が続き、この塚に眠っている武将の祟りではないかということになって、昭和３年（1928）６月２２日に石塔を建立し、年２回塚の供養を行ったところ、その後不幸な事が無くなったと云う。

**⑦上田（じょうだ）神明社**（祭神はイザナギ尊・イザナミの尊）

　石盛（コクモリ）が上位であったのでこの名になる。

旧本宿村３神社（切割神明社、神奈川坂神明社）の１つで上田は小字名。

昭和３０年代初めまでは３社が順番に村祭をやっていた。

市の名木古木にヤブツバキがある。（数多くの園芸品種の素になり椿油の素として食用や髪結いに利用された。藪椿に対し雪椿（日本の山側）があるが椿には香りが無い。）

**⑧南本宿市民の森**区内に５カ所ある市民の森の一つ。

面積6.4ha、 公開平成７年、林内散策路750m、休憩所一ｹ所。

旭区の南部に位置し、こども自然公園からも近く、周囲一体が自然に包まれています。
尾根の道沿いには杉の木が連なり、名木・古木のイチョウと椿も見事です。トイレや広場なども整備され、ゆったりした時間を過ごすことができます。

横浜市内に公園は１７６０haあり、市民の森は４６０haあります。（横浜市の面積４３，５００ha、市民の森は横浜市の面積の１％を占める。公園と市民の森を合わせると５％の面積を緑として担保しています。）

市民の森は昭和４６年に横浜市が全国に先駆けて作った制度です。

**⑩西岸寺跡**

享保１９年（1734）公儀への報告書に「三反田村南面山覚法院西岸寺」と記載されていることから、開基はそれ以前と思われるが、明治初年廃寺になりました。

昔は、高さ１．３５ｍで良弁僧都の作とされる本尊・阿弥陀坐像があったと云うが、今は高３ｍほどの金色に輝く立派な阿弥陀様が祀られている。

当時は巡拝６６部の本拠地であり、６６部を納める寺の中の一つであったと思われる。

裏の墓の中に開基の僧と思われる西岸和尚の名もあります。